

III 千葉第2キャンパス

1 年間の諸行事・諸活動

2009(平成21年度) 看護学部 学年暦 [前学期]

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		
1	水	第45回入学式(学部合同)	1	金	1	月	1	水	1	土	1	火
2	木	1年次生学生証配布・資料配布・オリエンテーション	2	土	2	火	2	木	2	日	2	水
3	金	1年次生オリエンテーション 2年次生以上教科書販売	3	日	3	水	3	金	3	月	3	木
4	土	1年次生健康診断・ユニフォーム採寸・教科書販売 前学期履修登録開始	4	月	4	木	4	土	4	火	4	金
5	日		5	火	5	金	5	日	5	水	5	土
6	月	授業開始(2年次生以上) 図書室夜間開始(8/6まで)	6	水	6	土	6	月	6	木	6	日
7	火	授業開始(1年次生)	7	木	7	日	7	火	7	金	7	月
8	水		8	金	8	月	8	水	8	土	8	火
9	木	日本学生支援機構奨学金説明会	9	土	9	火	9	木	9	日	9	水
10	金	↓	10	日	10	水	10	金	10	月	10	木
11	土		11	月	11	木	11	土	11	火	11	金
12	日		12	火	12	金	12	日	12	水	12	土
13	月		13	水	13	土	13	月	13	木	13	日
14	火		14	木	14	日	14	火	14	金	14	月
15	水	履修登録締切(12:00終了)	15	金	15	月	15	水	15	土	15	火
16	木	教授会(予定)	16	土	16	火	16	木	16	日	16	水
17	金	大学入試説明会(予定)	17	日	17	水	17	金	17	月	17	木
18	土		18	月	18	木	18	土	18	火	18	金
19	日		19	火	19	金	19	日	19	水	19	土
20	月	履修登録変更期間	20	水	20	土	20	月	20	木	20	日
21	火	↓	21	木	21	日	21	火	21	金	21	月
22	水		22	金	22	月	22	水	22	土	22	火
23	木	通常授業(創立記念日)	23	土	23	火	23	木	23	日	23	水
24	金	降誕会(午後休講) 新入生セミナー	24	日	24	水	24	金	24	月	24	木
25	土	↓	25	月	25	木	25	土	25	火	25	金
26	日		26	火	26	金	26	日	26	水	26	土
27	月		27	水	27	土	27	月	27	木	27	日
28	火		28	木	28	日	28	火	28	金	28	月
29	水	祝日(昭和の日)	29	金	29	月	29	水	29	土	29	火
30	木	淑徳大学奨学金説明会(2~3年次生対象)	30	土	30	火	30	木	30	日	30	水
			31	日			31	金	31	月		

2009(平成21年度) 看護学部 学年暦 [後学期]

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月				
1	木	1	日	龍澤祭 オープンキャンパス(予定)	1	火	1	金	1	月	通常授業(2年次生)	1	月	リーダーズキャンプ
2	金	2	月	龍澤祭後片付け(休講)	2	水	2	土	2	火	後学期授業終了 図書室夜間終了 追試験日程発表(千葉C・第2C)	2	火	↓
3	土	3	火	祝日(文化の日)	3	木	3	日	3	水	A方式入試1次(予定)	3	水	基礎看護学実習Ⅱ(3/5まで)
4	日	4	水		4	金	4	月	4	木	↓	4	木	
5	月	5	木		5	土	5	火	5	金	学園賀詞交歓会(予定)	5	金	↓
6	火	6	金		6	日	6	水	6	土	祝日(勤労感謝の日)振替日	6	土	
7	水	7	土		7	月	7	木	7	日	追試験期間(千葉C・第2C)	7	日	
8	木	8	日	推薦入試(予定)	8	火	8	金	8	月	祝日(海の日)振替日 新年授業開始 図書室夜間開始(2/2まで)	8	月	追試験期間(千葉C・第2C)基礎看護学実習Ⅱ(3/5まで) 再試験期間(第2C)(2年次生)
9	金	9	月		9	水	9	土	9	火		9	火	↓
10	土	10	火		10	木	10	日	10	水	午前休講	10	水	後学期成績発表(2年次生)
11	日	11	水		11	金	11	月	11	木	祝日(成人の日)	11	木	
12	月	12	木	祝日(体育の日)	12	土	12	火	12	金	祝日(建国記念の日)	12	金	
13	火	13	金		13	日	13	水	13	土	オープンキャンパス⑤	13	土	
14	水	14	土		14	月	14	木	14	日		14	日	AOⅡ期入試(予定)
15	木	15	日	教授会(予定)	15	火	15	金	15	月	再試験対象者への指導期間	15	月	
16	金	16	月	1年次生 B型肝炎ワクチン接種③	16	水	16	土	16	火	再試験申込締切(第2C)	16	火	
17	土	17	火		17	木	17	日	17	水	大学入試センター試験 ↓	17	水	
18	日	18	水		18	金	18	月	18	木	教授会(予定) 後学期成績発表(1年次生)	18	木	教授会(予定)
19	月	19	木	教授会(予定)	19	土	19	火	19	金		19	金	進級発表
20	火	20	金	1年次生 B型肝炎抗体検査	20	日	20	水	20	土	再試験申込締切(千葉C)	20	土	
21	水	21	土		21	月	21	木	21	日	教授会(予定)	21	日	祝日(春分の日)
22	木	22	日		22	火	22	金	22	月	年内授業終了 図書室夜間終了 後学期定期試験	22	月	再試験期間(第2C)(1年次生) ↓ 振替休日
23	金	23	月	通常授業(勤労感謝の日)	23	水	23	土	23	火	祝日(天皇誕生日)	23	火	
24	土	24	火		24	木	24	日	24	水	祝日(敬老の日)振替日	24	水	再試験日程発表(千葉C) ヨーロッパ社会福祉研修 (3/10まで予定)
25	日	25	水		25	金	25	月	25	木	後学期定期試験	25	木	後学期成績発表(3年次生)
26	月	26	木		26	土	26	火	26	金	↓	26	金	再試験期間(千葉C)(1年次生) ↓
27	火	27	金		27	日	27	水	27	土		27	土	学びフェア②
28	水	28	土		28	月	28	木	28	日		28	日	
29	木	29	日		29	火	29	金	29	月	授業予備期間(~2/2)	29	月	
30	金	30	月	龍澤祭準備のため休講	30	水	30	土	30	火		30	火	
31	土	31	日	龍澤祭 オープンキャンパス(予定)	31	木	31	日	31	水		31	水	

・千葉東病院との連携強化

開学時より連携している千葉東病院は、1、2年生の基礎看護実習、3年生では領域実習で成人看護学や小児看護学領域の、4年生には総合実習などの実習先である。教員は病院の看護師のジェネラリスト研修の一環である研究指導や、看護倫理の指導にも当たっている。また、病態学を中心とした科目の講師として、同病院の臨床の医師等が講義を行っている。

年に2回連絡協議会を持ち、施設関連、実習関連などの諸項目に関する話し合いの機会を持っている。奨学金、寮などに関しても利用の機会を設けてくださっている。院長のオフィスアワーを設けて、千葉東病院への理解を推進している。

・第2回看護川柳コンテスト

昨年、開学1周年記念行事として開催された「看護川柳大賞」を、平成21年度はより社会に広く本学看護学部をアピールすることと、「おもくなりがちな看護や介護に関するテーマを親しみやすい川柳にすることで、明るく前向きにとらえる」を目的に、あらためて「看護川柳コンテスト」として開催した。応募句数は532句となり、前年比で218%にまで達した。応募された作品は、学長を委員長とした選考委員会により厳正な選考が行われ、入選した5作品を12月13日に表彰した。今回のコンテストにより、淑徳大学看護学部が広く社会に認知されただけでなく、今後継続していくことにより、看護や介護への一層の理解に貢献できるものと考えている。応募がさらに学内や大学関係者よりも増加することが望まれる。

・牧野先生特別講義

客員教授牧野正直先生による「ハンセン病の歴史に学ぶ―強制隔離は必要だったのか―」の特別講演が11月4日に2年生を対象に開講された。毎年開講されてきたが、今年の新しい試みは、多摩全生園に入所されている方が同行し、自らの言葉で自身の病との闘いを語ってくださったことである。目前にいる患者さんの、その口から語られる差別と苦悩の生の声は、学生にとって貴重な体験の機会であった。また、牧野先生より、「きちんとした知識を持って、正しい説明をする勇気的重要性」が、この病の歴史から学ぶこととして示された。

・入学前準備セミナー・保護者説明会

開催目的は、生徒に対しては年々低下している理科系の基礎学力の強化、保護者に対しては、奨学金やキャリア支援などの案内を行い、入学後にスムーズに学習が進行することを支援することである。特に理科系の科目は、高校での履修内容や受験科目によって学生間の入学時の学力に差があることが判明してきている。そのためにA0I期、推薦入学で合格した入学予定者に対して、11月14日に本セミナーを実施した。1名の欠席のみで49名の生徒と、その保護者が出席した。生徒には化学と生物の基本的な知識の理解を問うテストを実施し、採点の後に解説、採点、個人面接を実施した。单元ごとに学習が不十分と思われる範囲を明確にする指導を行った。

・千葉東病院長オフィスアワー

本学部は開学時より千葉東病院との連携を持って教育・研究が行われているが、今年度後学期から開始される各看護領域での臨地実習に先立ち、3年次の学生たちが千葉東病院に

ついて一層理解を深められるようにとの目的で、千葉東病院山岸院長によるオフィスアワーが7月9日に本学で開催された。当日は院長からの病院概要の説明、教育担当師長より看護と卒後教育についての説明、先輩看護師から所属する病棟の看護についての説明などがあり、その後活発な質疑応答が行なわれ、有意義な会となった。

2 教育事業

・領域別実習の開始

2009年9月より2010年3月まで、看護学部第1期生の領域別実習が行われた。1期生は1年次、2年次と基礎看護学の実習を経験しているが、それぞれ科目毎の実習目的に沿っておこなう成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、地域看護学、在宅看護学の合計20週におよぶ本格的な実習であった。

淑徳大学の臨地実習の目的は「これまでの講義や演習を通して学んだ知識・技術・態度を統合し、根拠に基づいた看護援助を対象やその家族とかかわりを持ちながら実践することにより、基本的で総合的な看護実践能力を養うことを目的とする。」としている。

学生は1グループが14人から15人ずつの8グループに別れ、領域によってはさらに少人数に分かれて施設や病院、在宅などさまざまな人々が暮らす療養の場と生活の場で、健康問題の解決だけでなく、健康の維持増進のための支援を臨地実習でおこなった。

これまで自分自身の生活体験が少ない学生でも、実習でさまざまな人々を受け持たせていただくことで大きく成長し、視野も広がったことを教員としても実感できた。

・カリキュラムの変更について

昨年（平成20年）4月に施行された保健師助産師看護師学校養成所指定規則等の一部改正は、看護をめぐる環境の変化を受けて看護実践能力を強化するため、看護基礎教育のカリキュラム改正等となったものである。質の高い看護の提供が求められていること、看護業務の複雑・多様化、医療安全に関する意識の向上等があるにもかかわらず、学生の看護技術の実習の範囲や機会が制限されつつあることから、厚生労働省や文部科学省において検討されてきたものである。

平成22年度に完成年度を迎える本学では、平成21年度入学生については、科目の単位数は変更せず、学生の学びの効率化から年次や学期における進捗のみの変更とした。該当する必修科目は、保健医療統計学、病態学A、成人看護学概論、看護過程、老年看護学概論、地域看護診断、基礎看護学演習、老年看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅰ、保健医療と福祉の統合Ⅱである。また社会福祉主事の資格取得に関連して、社会福祉原論は社会福祉概論へと科目名を変更した。

・教育向上推進（FD）活動

授業アンケートでは、平成21年度からポータルサイト利用からアンケート用紙利用による実施方法に切り替えた。それにより、回収率が大幅に上昇した。実習に関するアンケートは早い段階で回収し、改善に役立てた。教員による授業アンケートの実施率は100%で、学生からの評価や要望に対する改善策を記述し、FD成果報告書に公表した。

教員研修では、平成21年度は「モデル授業を参観して、授業方法を再考しよう！」と題して本学部講師の授業を参観してのグループ討議および発表、「臨地実習における指導を考

える」という意見交換会、CINAHLの研修会、「学生の臨地実習を実りあるものにするために－実習指導者と教員の協働－」という甲南女子大学教授による講演を行った。いずれの研修にも本学部の教員の出席率は9割を超え、最後の研修は実習施設から40名の実習指導者の参加もあった。

授業公開では、平成20年度から開始した「組織的取り組みによる授業公開」を平成21年度も継続して実施し、専任教員のほぼ全員が授業を公開し、全教員が参観した。

・国家試験対策・就職支援

来年度の看護師および保健師国家試験受験のための対策の第一歩として、3年次生に現在の自身の学力を把握させるため、業者による全国レベルの低学年用模擬試験を7月に受験させ、今後の勉強方法などの指導を開始した。就職対策としては、4月に第1回意向調査を実施した後、8月に今後の就職活動スケジュール、保健師採用試験の概要の説明を行うとともに、就職活動などにおけるマナー講座を全員参加で実施した。さらに3月末には希望者を対象に業者による公務員対策講座を5日間実施した。

3 研究活動

・看護学部共同研究プロジェクトについて

これまでの継続活動として、地域との連携を持った活動である地域事業への参画と、地域委員会への参加、看護学部紀要の発行を行った。

基礎看護学領域では、学内演習時に模擬患者としての地域住民の協力を仰いでいる。今年度で2回目となる2年次生の学内看護技術演習の折に、11月に2日間地域の高齢者の方より、模擬患者として延べ29名の協力を得た。

・紀要第2号の発行について

看護学部紀要2号が発刊された。「宗教と科学」というトピックスが生まれ、本学の「宗教と科学」の講座を担当されている磯岡哲也教授を筆頭に5人の講師に執筆をお願いした。地域に開かれた大学を目指して、開学時より行われている「松ヶ丘地区部会との共同プロジェクト活動報告」も掲載された。専任教員の寄稿も充実してきている。今後、回を重ねるごとに、さらに優れた論文が掲載されることを期待している。

・科学研究費補助金等の需給状況

1. 平成21年度日本学術振興会科学研究費補助金

看護学部

(単位千円)

研究種目	研究者	区分	課題内容	平成20年度 直接/ 間接経費
1. 基盤研究C	小川 純子	継続	CAIによる、小児がんの子どもの治療への主体性を高める疾患別援助プログラムの作成	600/180

2. 平成 21 年度文部科学省科学研究費補助金

看護学部

(単位千円)

研究種目	研究者	区分	課題内容	平成 20 年度 直接/ 間接経費
1. 若手研究 B	秋月 百合	継続	対人関係性の質が不妊女性の心理的適応に及ぼす影響—看護支援の質向上を目指して—	1,000/300

4 社会貢献活動

・病院の研究指導

<独立行政法人国立病院機構千葉東病院>

平成 21 年度の千葉東病院における看護研究指導は、平成 20 年度に引き続き講義と調整役を小川純子講師が担当した。研究に関する講義は、『文献検索の方法』から『発表用のパワーポイントの作成方法・発表の工夫』まで、5 回実施した。今年度は偶数病棟 6 つが新規の研究を行い、久代和加子教授、岩崎紀久子教授、小池潤准教授、鶴岡章子講師、大谷則子講師、間脇彩奈助教が指導を担当した。今年度は完成年度でもあり指導日を統一することが困難であったため、個別指導は、担当病棟と担当教員で日程調整を行った。すべての研究が、1 月の千葉東病院の院内発表で口頭発表をし、論文集にまとめることができた。

<独立行政法人国立病院機構下志津病院>

平成 21 年度の下志津病院における看護研究指導は、調整役と講義を伊関敏夫講師が担当した。5 回の講義内容は「臨床における看護研究」をテーマに研究課題の選択・絞込みから、研究の動機・目的、目標の明確化などについて事例を用いて説明した。また、「パソコンを用いた文献検索の方法」、「文献の読み方」を講義とグループワークで行い、「統計手法の必要性と選択」などと合わせて、研究の進め方を教授後、実際に研究テーマの絞込み、研究計画書の作成へと進んだ。研究の実際には、看護部が研究を実施したい人を募ったところ、既に実施途上である研究も含め 5 件の研究を実施することとなり、伊関講師が 1 件、大澤講師が 2 件、佐藤助教が 2 件を担当し病院及びメールでの指導を実施した。3 月に院内研究発表会で、途中経過の研究も含めてパワーポイントを用いた口頭発表を行い、次年度に続く体制となった。

5 学生の活動

・千葉東病院クリスマスコンサートへの参加

本学部では国立病院機構千葉東病院との共催で毎年クリスマスコンサートを行っている。平成 21 年度は、平成 21 年 12 月 22 日（火）同病院体育館において、入院中の患者様やそのご家族、特別支援学校の生徒さんやご近所の皆様を迎えて、1 年次生の有志および教職員有志による合唱とハンドベル演奏および手話ソングによるコンサートが催された。コンサートに参加した学生および教職員は約 70 名であった。

- ・ 淑徳共生苑ニューイヤーズコンサートへの参加

上記のメンバーの一部約 30 名が 1 月 12 日に施設利用者や、デーケア通所者の方々へ向けてのコンサートを実施した。

6 その他

- ・ ハラスメント研修の開催

ハラスメント防止・対策に関する規程により、今年度は昨年度の研修会の欠席者及び新任教職員に対し研修会を平成 21 年 11 月 6 日(金)に開催した。研修会は、パワー・ハラスメント対応をテーマに「パワー・ハラスメントとは何か」、「パワハラがなくなる話し方・接し方」をテーマとしたビデオ研修を行なった。